

事務事業 No./名称	□サービス部門 市民-34 深沢支所管理運営事業 □支援部門									
主管課	深沢支所		関連課							
分野名	行財政運営・コミュニティ活動の活性化									
目標 (目標値)	地域住民の身近なところできめ細やかな行政サービスを提供するとともに、支所機能の充実を図り、より一層の市民生活の向上・福祉増進を目指す。									
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考					
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
事業の対象者数	34,492人	34,841人	34,661人							
運営資源状況	決算値(千円)	34,238千円	36,362千円	40,634千円						
	(国・県)									
	(負担金等)	106千円	116千円	116千円						
	(一般財源)	34,132	36,246	40,518千円						
	人員配置数	6.0人	6.0人	6.0人						
	人件費(千円)	46,724千円	50,331千円	50,524千円						
	協働のパートナー									
事務事業運営経費	総事業費(千円)	80,962千円	86,693千円	91,158千円						
	市民1人当りの経費(円)	457円	489円	515円						
	対象者1人当りの経費(円)	2,347円	2,448円	2,630円						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	日野市	立川市	三鷹市
	住所・戸籍異動	未実施	実施	実施	実施	未実施	未実施	実施	実施	実施
	国保・年金異動	未実施	実施	実施	実施	未実施	未実施	実施	実施	実施
	市税等の収納	未実施	実施	実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
昼休み窓口全業務の実施	◎	目標値	毎日	毎日	毎日	毎日				
		実績値	毎日	毎日	毎日	毎日				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退										

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
深沢支所運営事務	6,084千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	戸籍届、住民異動届、印鑑の登録・廃止、諸証明書の交付、国民年金、国民健康保険の各種届出、市税等の収納事務、地域団体との連絡・協調に係る事務を行う。			
深沢支所管理事務	28,154千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	深沢行政センターの維持管理を行う。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	・支所業務は多岐にわたる窓口業務を担っており、多くの業務に精通しなければならず、その対応に苦慮している。また、地域力充実に向け、地区連合町内会、地区社協等の地域団体の自立と連携強化が必要である。 ・国から賃借している土地(駐車場の一部)について、継続して使用できるかが課題である。			取組の結果	□解決 ■未解決
課題解決のための取組	・市民の多様なニーズに対応できるよう職場研修の実施や外部研修への参加など、常に情報の共有に努めた。 ・国との協議を実施し、引き続き賃貸借契約を締結した。				
未解決の課題	・深沢地区連合町内会、深沢地区社会福祉協議会等地域団体に対し、引き続き自立を前提にした支援が必要である。 ・国から賃借している駐車場用地は買受が好ましいと考えるが、財政状況を考えると困難である。深沢地区の再開発を視野に入れ、中長期的なビジョンに立つての判断が必要と考える。				

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		A	課長等名
		③有効性 ○			深沢支所長
		④公平性 ○			山田 次郎

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
深沢支所運営事務	主な個別事業	294 事務補助嘱託員報酬 4人	4,113	3,216	○	○	○	○
		294 文房具等消耗品費	700	697	○	○	○	○
		294 電話、ファクシミリ等電信料	720	625	○	○	○	○
		294 電子複写機賃借料等	199	98	○	○	○	○
		294 深沢行政センター用地賃借料	1,144	1,143	○	○	○	○
深沢支所管理事務	主な個別事業	295 深沢行政センター光熱水費	8,903	6,961	○	○	○	○
		295 施設維持修繕料	1,800	1,732	○	○	○	○
		295 昇降機等施設保守点検手数料	1,825	1,657	○	○	○	○
		295 施設総合管理業務委託料	16,002	16,002	○	○	○	○
		295 熱源機保守点検委託料	879	725	○	○	○	○
		295 夜間機械警備委託料	253	253	○	○	○	○
		295 自動扉保守点検委託料	239	239	○	○	○	○
		295 構内電話交換設備保守点検委託料	227	227	○	○	○	○
		295 植栽管理委託料	150	149	○	○	○	○
		295 衛生害虫防除委託料	103	103	○	○	○	○
295 直流電源装置等保守点検委託料	90	90	○	○	○	○		
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							